

# おしどりミニ便り

東京オリンピックが終わりました。アスリートの皆さんの活躍が私たちに元気を与えてくれましたが、心配なのはコロナの第5波です。他県の報告ですが、ワクチン二回接種後にも高齢者施設でクラスターが出たとのこと。おしどりの利用者様、職員もほぼワクチン接種が終わっていますが、変異株が急増していますので今後も感染対策をしっかりと行っていきたいと思います。今月もよろしくお願い致します。



OMI CHIROBAKAI

社会福祉法人近江ちいしば会  
デイケアの家おしどり

2021年8月吉日

## 「夫に誘われたお出かけ」

この1年半、私たちは感染症予防の生活とうまく付き合えるようになってきたのではないかと思います。現在のコロナ禍においても、おしどりではみなさんからの「行ってみたい」「やってみたい」の声を大切にしています。希望が叶ったとき、できるかなと思っていたことができたとき、自然と他者と喜び合えて笑い合え、自信へとつながり元気の源・生きる活力になって行きます。これらのことがご家族とも分かち合えるとさらに元気の輪が広がって行くことと思います。

あじさいの季節に、守山市内の神社へ出かけました。神社の敷地内に咲き誇るあじさいの花にみなさん手に取り、香りを確かめ見入っておられました。知る人ぞ知るこの“あじさい神社”は、どなたも初めて来たとのことで、「こんなきれいなところがあるって知らなかった」「花を堪能できた」と驚きと喜びの声がみなさんから聞けました。

男性のAさんも、血圧の変動など不安を抱えておられますが、元気に見物に参加され、「きれいやったわ〜」「また行きたいなあ」と、いつもの陽気な口調で笑顔で話されていました。

その数日後、Aさんの奥様から「この前行ったのは守山のなんていう神社ですか？」と問いあわせがあり、鹿島神社ですとお伝えしました。奥様からは、

Aさんがあじさいを見に行った日の夜に、きれいな花を見て来たことを奥様に話し、「今度行こうか」とお誘いになったというお話を聞くことができました。

そしてさらに、Aさんの次の来所日には、Aさんの連絡

ノートに奥様から、Aさんの道案内であじさい神社にたどり着けたこと、ゆっくりと見て回って二人でおやつを食べたこと、帰り道には近くで買い物をして帰ったことなど、奥様がAさんの体調を気遣いながらお二人でのお出かけをととても楽しまれた様子が伝わってくるメッセージをいただきました。

きれいな花や景色を見たとき、美味しい物を食べたときなど、「あのひととまた来たい、一緒に食べたい」と大切な人や家族を思い浮かべながら自然に誰もが思うことではないでしょうか。今回のおしどりのお出かけがきっかけで、こんなご夫婦の微笑ましいエピソードを聞くことができました。





将棋の仲間が増えてきました。勝ち負けも活力に変わります。



梅干しを土用干ししました。今年はよい天候で美味しい梅干しが出来そうです。



取れたての野菜は新鮮で甘みが凝縮しています。口に入ると「美味しいね」の笑顔がたくさんあふれます。



## いい日常生活支援

「お茶碗を拭くのは男性でも構いませんか？」と積極的に参加された N さん。ありがとうございます。



おしどりでできたきゅうりをぬか床に漬けて昼食の一品に🍽️とても美味しかった



腕を使う、指先を動かす、集中する、出来上がりを喜び楽しむ🍽️

仲間と共々することで意欲が湧いてやってみようという気持ちに変化する。暑い日々ですが、皆さん生き生き活動されています。



保育園や学校に寄贈する台ふきん縫いも心を込めて一針一針縫われています。何枚たまったかな？

